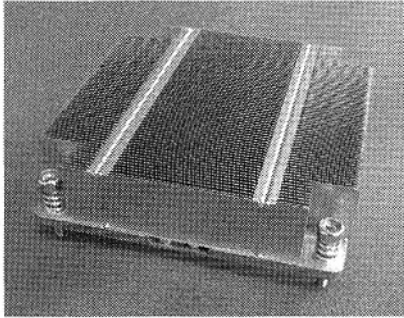


# 台湾タイソル電子と提携

## 丸三電機

### 産業用 ヒートシンク 価格3割以上安く



丸三電機（東京都千代田区、竹村元秀社長、03・3253・0411）は、台湾のタイソル電子（台北市）と業務提

携し、国内でヒートパイプ（熱交換機）を埋設した産業用ハンダ付けヒートシンク（放熱板、写真）市場に参入する。丸

三電機の熱解析技術や設計技術、品質管理のノウハウなどを基にタイソル電子が製造し、現在の市場平均から3割以上安い価格で提供する。

製品はタイソル電子の中国・東莞工場（広東省東莞市）と蘇州工場（江蘇省吳江市）で製造する。物流などはオリエンタルコンピュータ（東京都新宿区、芦原錦吾社長、03・3359・7892）が担当する。

半導体素子の小型化に伴い、業界ではより高効率な放熱技術が求められる。ヒートパイプは熱を広範囲に移動させることで放熱効率を高めるもの。ヒートパイプ付きのハンダ付けヒートシンクは構造が複雑で生産に大がかりな設備が必要のため、これまで大手が主に手がけてきた。

竹村社長は「タイソル電子の民生機器製造用ラインを用いることで、良質な製品をより安価に提供できる」としている。

産業用ヒートシンクに特化してきた丸三電機と、パ